

未来都市へ繋ぐ、産官学協働型の地域連携情報ハブ拠点の形成

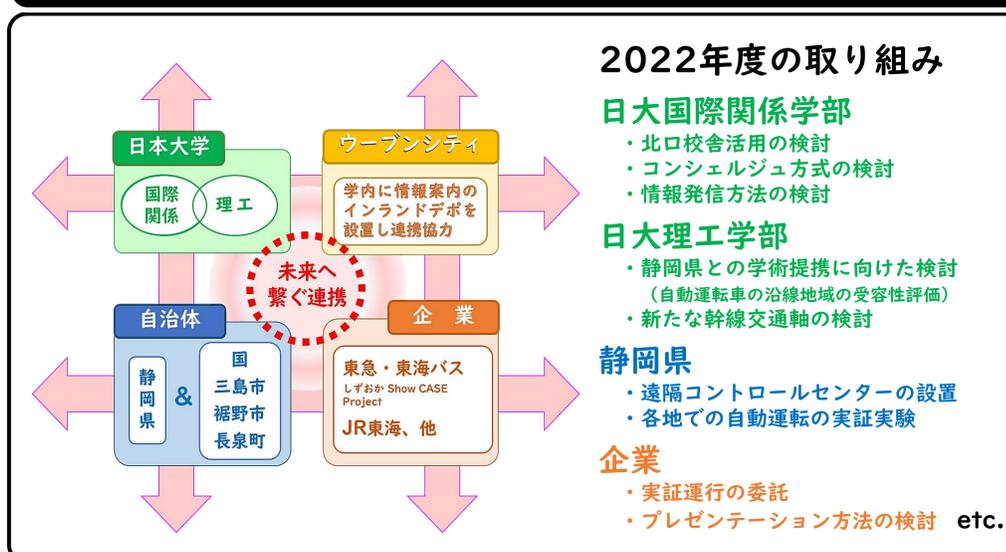
静岡県+日本大学（国際関係&理工）連携プロジェクト

提案・文責：日大理工交通 藤井敬宏

提案の経緯と今後の取り組み

- 2022.3.14に開催された「しずおか自動運転 Show CASEプロジェクト」の静岡県未来創造会議にて、今後の自動運転の社会実装に向け、藤井が新幹線三島駅北口の国際関係学部を活用し、将来的にウーヴンシティまで直結する自動運転車の導入基地として情報発信できるハブ拠点を提案
- 静岡県交通基盤部建設政策課イノベーション推進班より、2022年度にJR三島駅から自動運転車の走行実験は難しいが、北口校舎内に遠隔コントロールセンターを設置・運用することで、学生・生徒・市民など、多くの方々に遠隔実験の様子を確認していただけたような取り組みは可能との回答
- 青木義男 理工学部長に企画を提案。学部連携プロジェクトとして、渡邊武一郎 国際関係学部長とご協議いただき、さらに国際関係学部にて事務局のご協力を得て、教授会にて提案を受諾
- 国際関係学部と理工学部にて学部間連携 ⇒ 国際関係学部と静岡県との連携協定を締結
- 2022.6.27に開催された裾野市岩波駅周辺まちづくり推進会議後、参加委員および三島市・長泉町の職員の方々を対象に、「しずおか自動運転 Show CASEプロジェクト」を紹介し、2市1町を加えた新たな産官学の連携の枠組み（右図）を提案
- 遠隔コントロールセンターの実証実験を次年度以降に活かすため、国際関係学部を情報ハブ拠点とし、敷地内から自動運転車を発着させ、混雑する駅前ロータリーを回避、JR下土狩駅まで自動運転、JR御殿場線を介してウーヴンシティまで繋ぐ社会実験を提案。今後、2市1町の実質的な連携を高め、静岡県との協議を重ね、持続・継続し得るプロジェクトへの移行を目指す

目指す産官学の連携の枠組み案



長期的交通幹線軸の形成（試案）



未来へ繋ぐ新たな交通幹線軸の形成

新幹線 JR三島駅とウーヴンシティとを結ぶ新たな交通モード



地域連携ハブ拠点 三島駅北口校舎



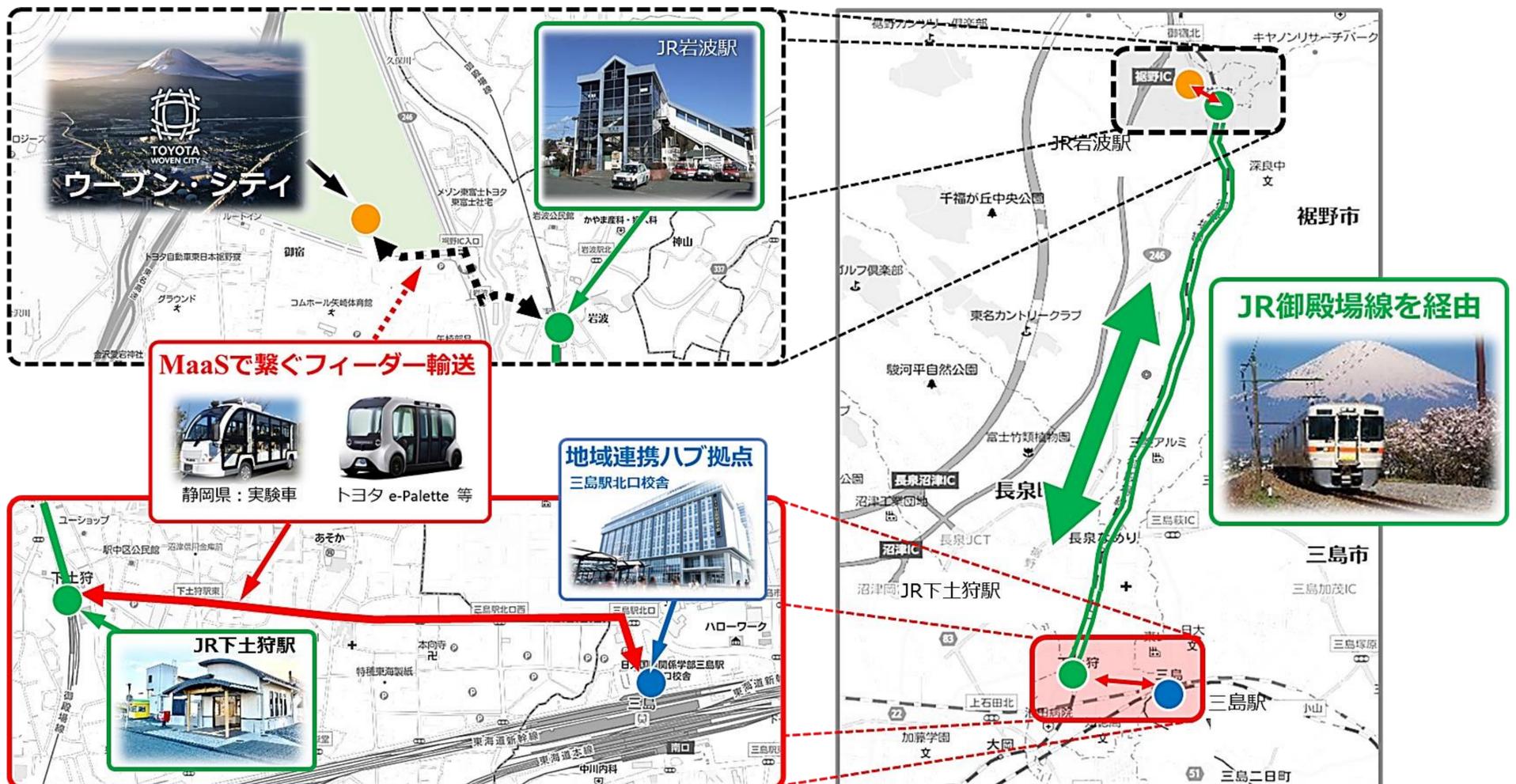
未来都市へ繋ぐ、産官学協働型の地域連携情報ハブ拠点の形成

静岡県+日本大学（国際関係&理工）連携プロジェクト

提案・文責：日大理工交通 藤井敬宏

次年度以降の短期的アプローチ（次年度への試案）

■ 新幹線三島駅（日大）⇔JR下土狩駅間の自動運転



新幹線三島駅周辺の走行ルート（試案）

■ 日大国際関係学部を情報ハブ拠点とした自動運転車の発着基地としての運用

